

# 平成 24 年度 第 71 回国民体育大会強化委員会強化方針について

## 1 目標

- (1) 第 71 回国民体育大会強化委員会選手強化年次計画に基づき、本県の競技力向上を図るとともに第 67 回国民体育大会（以下、「国体」という。）における男女総合成績（天皇杯順位）30 位台・815 点を目標とする。
- (2) 平成 28 年に開催される第 71 回国民体育大会（以下、「71 国体」という。）において、全競技団体が入賞（競技得点獲得）するために、各競技団体の年次強化計画をもとに、年次ごとに確実に競技力を向上させる。

## 2 実施方針

- (1) 組織の拡充・強化
  - ア 各競技団体の強化年計画の作成
  - イ 支援内容の検討と支援依頼
- (2) 指導体制の確立
  - ア 強化拠点の検討と指導者配置
  - イ 一貫指導システムの完成
  - ウ 女子強化プロジェクト会議の充実
- (3) 選手の育成・強化
  - ア 該当年選手の把握と国体強化選手の指定
  - イ 各種別の強化体制の確立と該当年選手の発掘と強化
  - ウ 強化拠点の検討
- (4) サポート体制の拡充
  - ア いわて A T 1 期生のスキルアップと 2 期生の養成
  - イ いわて A T 1 期生の競技団体とのマッチング
  - ウ スポーツ医・科学センターの整備及び準備

## 3 実施事業

	事業名	説明
組織の拡充・強化	国体担当者・ヘッドコーチ合同会議 【603 千円】	各競技団体の各種別強化担当者が一堂に会し、平成 28 年岩手国体に向けた強化体制の構築、競技力向上について、協議・研修し、在り方・方向性を構築する。 10 月中旬、1 月中旬（中高指導者連携協議会と合同開催）の年 2 回開催。
	中高指導者連携協議会 【612 千円】	各体育団体（競技団体・中体連・高体連）の指導者が一堂に会し、平成 28 年岩手国体に向けた中高連携した指導方法、指導体制づくり等について協議・研修し、在り方・方向性を構築する。 6 月 22 日、1 月中旬（国体担当者・ヘッドコーチ合同会議と合同開催）の年 2 回開催。
	コーチ会議等事業 【485 千円】	競技団体事務局担当者・強化スタッフ及び国体監督・コーチとの連絡調整会議及び研修会等を実施する。 国体強化委員会の選手強化・医・科学委員会を中心に開催。
	スポーツ支援協議会 【145 千円】	スポーツの普及・振興を図るために、産業経済界及びスポーツ関係者を集め、選手の育成の支援のあり方等について協議する。 7 月下旬、10 月中旬の年 2 回開催。

指導体制の確立	指導者スキルアップ事業 【13,960 千円】	日本を代表するトップコーチを招聘し、指導者講習会を開催し、県内指導者の指導力向上を図ることを目的に各競技団体ごとの企画で実施。
	コーチ派遣事業 【4,100 千円】	中央競技団体または全国トップレベルのチームが開催する指導者養成講習会及び練習会に県内の指導者を派遣し、指導力の向上を図ることを目的に各競技団体ごとの企画で実施。
	一貫指導システム構築事業 【0 千円】	系統的な選手の育成強化を図るため、各中央競技団体が研究を進めている競技者育成プログラムを積極的に取り入れ、岩手版一貫指導プログラムを作成する。 各競技団体の取り組みの状況を把握・指導し、国体に向け、本格活用を目指す。
選手の育成・強化	ジュニア選手強化事業(中・高校生) 【23,520 千円】	国体で実施される競技の少年種別を対象に優秀チーム・選手を選抜し、合宿及び練習会、県外遠征、県外チーム招聘等の強化事業を実施する。 国体及び71国体向けに各競技団体ごとの企画で実施。
	トップ選手強化事業 【14,340 千円】	国体で実施される競技の成年種別を対象に、優秀チーム・選手を選抜し、合宿及び練習会、県外遠征、県外チーム招聘等の強化事業を実施する。 国体及び71国体向けに各競技団体ごとの企画で実施。
	強化指定クラブ支援 (少年・成年種別) 【16,956 千円】	「岩手県スポーツ特別強化指定校」及び「岩手県私立高校重点強化校A」に指定された団体に対して、県外遠征、強化合宿及び練習会を実施するための強化活動費を補助し、重点的に強化を図る。 国体及び71国体向けに、指定クラブ・各競技団体ごとの企画で実施。
	重点競技強化事業 【54,720 千円】	過去の成績をもとに強化種目及び強化種別を選定し、重点的な強化を図る。 来年度以降の事業の在り方を検討し、方向性を決定する。
サポート体制の拡充	いわてアスレティックトレーナー養成事業 【7,126 千円】	競技別専任トレーナーを配置するため岩手版アスレティックトレーナーの養成を行う。 1期生のスキルアップ及び2期生の養成を推進する。
	スポーツ医・科学サポート事業 【3,000 千円】	競技団体の大会及び強化合宿等に専門的知識を持ったスポーツドクターやトレーナー、アスレティックトレーナー等を派遣し、競技力の向上を図る。 有力競技・学校へのトレーナー派遣を継続して実施する。
	スポーツ医・科学データ活用 【8,745 千円】	県代表選手の体力測定・分析を定期的に行い、日本代表選手等のデータと比較しながら強化しなければならない部分について解明し、より効果的なトレーニングをサポートする。 被災地スポーツ選手の体力測定及び助言をする。

第71回国民体育大会選手強化事業費 75,172 千円

いわてアスリート強化事業費 76,361 千円